

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成26年1月30日(2014.1.30)

【公表番号】特表2013-514421(P2013-514421A)

【公表日】平成25年4月25日(2013.4.25)

【年通号数】公開・登録公報2013-020

【出願番号】特願2012-543898(P2012-543898)

【国際特許分類】

C 08 F 220/38 (2006.01)

C 08 L 33/14 (2006.01)

C 08 J 5/22 (2006.01)

C 08 J 7/04 (2006.01)

【F I】

C 08 F 220/38

C 08 L 33/14

C 08 J 5/22 101

C 08 J 5/22 C E Z

C 08 J 7/04 C E R Z

【手続補正書】

【提出日】平成25年12月3日(2013.12.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(i)少なくとも2個のアクリルアミド基を含む架橋剤2.5~5.0重量%と、

(ii)(メタ)アクリルアミド基と陰イオン基とを含む硬化性イオン化合物2.0~6.5重量%と、

(iii)溶媒1.6~4.0重量%と、

(iv)フリーラジカル開始剤0~1.0重量%とを含み、(i)の(ii)に対するモル比が0.1~1.0である硬化性組成物。

【請求項2】

前記(i)の(ii)に対するモル比が0.13~0.7である請求項1記載の組成物。

【請求項3】

前記組成物の総重量に対する成分(i)と成分(ii)との合計重量%が3.0~8.5重量%である請求項1又は請求項2に記載の組成物。

【請求項4】

(i)少なくとも2個のアクリルアミド基を含む架橋剤8~1.6重量%と、

(ii)(メタ)アクリルアミド基と陰イオン基とを含む硬化性イオン化合物4.0~6.0重量%と、

(iii)溶媒2.2~4.0重量%と、

(iv)光開始剤0.01~2重量%とを含み、(i)の(ii)に対するモル比が0.1~1.0である請求項1又は請求項3に記載の組成物。

【請求項5】

(i)硬化性組成物を支持体に塗布する工程と、

(ii)該硬化性組成物を硬化させて膜を形成する工程とを備え、

該硬化性組成物が請求項1～請求項4のいずれか1項に記載のものである膜の製造方法。

【請求項6】

前記硬化性組成物を、硬化性組成物塗布用ステーションと、組成物硬化用照射源と、膜収集ステーションと、該硬化性組成物塗布用ステーションから照射源及び膜収集ステーションへの支持体の移動手段とを具える製造ユニットにより移動支持体に連続的に塗布し、電子ビーム又はUV光で30秒間未満照射することによって硬化させる、請求項5に記載の方法。

【請求項7】

多孔質支持体と、請求項1～請求項4のいずれか1項に記載の組成物を硬化させることによって得られたポリマー材料とを含む膜。

【請求項8】

請求項7に記載の膜を1枚以上具える電気透析又は逆電気透析ユニット、フロースルーキャパシタ装置、燃料電池、拡散透析機器、又は膜電極アセンブリー。